

「第16回 東京都食育フェア実施結果」

- 開催趣旨 都民が食について関心を持ち、安全安心な食を正しく選択する知識を身に付ける契機とする。また、都民と食育活動団体との交流や連携を促進し、東京の食育活動の充実と「東京都食育推進計画」の着実な推進を目指す。
- 開催日 令和6年11月9日（土） 10:00～16:00
令和6年11月10日（日） 10:00～16:00
- 場所 代々木公園ケヤキ並木通り（渋谷区神南二丁目）
- 主催 東京都
- 来場者数 32,801名
9日（土）晴れ曇 気温（最高-最低）17.5℃-7.8℃ 15,305名
10日（日）曇り時々雨 気温（最高-最低）16.4℃-11.4℃ 17,496名
- 参加団体 延べ58団体（イベントスペースのみ1団体、テントブース57団体）
出展団体テント数64張
- 内容
①イベントスペース
②ケヤキ並木通りテントブース

ケヤキ並木通り



テントブース



東京都ブース



テントブース（東京エコ農産物販売）



テントブース（東京科学大学）



テントブース
（食糧学院 東京栄養食糧専門学校）



テントブース（東京都農林水産振興財団）



キッチンカー



キッチンカー

テントスペースでは、57団体による食育に関するパネル展示、ワークショップ、東京産農産物の販売等が行われました。ワークショップでは、健康チェック、お箸置きづくり、食事のマナー教室、工作、栄養に関するクイズなどを行い、幅広い年代の方が参加されていました。

また、農産物の販売では、あまり市場では見かけない東京産農産物や各地の特産品などが並び、多くの方が購入されていました。キッチンカーでは、東京産のブルーベリー等を使った食材を提供し、多くの方が東京産の食材を喫食されていました。

東京都ブースでは、食育に関するパネルの他、下水道の汚泥物から農産物の肥料の元となるリンを取り出す技術の紹介や、学校給食へ東京産農産物を導入する支援を行っていることを紹介するパネルを設置し、会場内のクイズラリーとも連動して来場者の理解を深めるように実施しました。ぬりえコーナーでは、多くの子供たちがぬりえを楽しみました。



イベントスペース（お箸メーカー（株）兵左衛門）



イベントスペース
（お米マンプロジェクト実行委員会）



イベントスペース（食育フェアスペシャルトークショー）

イベントスペースでは、12コマの時間で、お箸に関するワークショップ、箸置きづくり、クイズ、大学生による発表などが行われました。子どもから大人まで幅広い年代が参加した他、海外の方も、お箸のマナーやいわれなどを学んだり、和食文化を学んでいる様子もありました。

また、「東京農業と地産地消の魅力」をテーマにトークショーを実施しました。ゲストに日野市で農業を営む「ミズとうきょう農業」梅村桂さんと小田急ホテルセンチュリーサザンタワー料理長石川篤志さんをお迎えして、食育に関するお話を伺いました。梅村さんの育てるカラフルなトマトを石川料理長が実際に調理なさったスライドが表示された時には、会場内から「色とりどりできれい」といった声が上がりました。消費者と生産者の顔が見えることの双方の立場からの利点なども伺い、先着60名には梅村さんが育てたトマトやリーフレット等をプレゼントし、ご自宅で実際に味わっていただく機会としました。